

アンケート結果 を踏まえて

このたびは、事業所運営に関するアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。保護者の皆さま、スタッフ双方から多くの声をお寄せいただき、回答率も高く、あおいはるが日頃から大切にしている「対話」と「関係性」が土台にあることを、あらためて実感しています。

1. 全体を通して見えてきたこと

今回のアンケートからは、

- 日々の支援や活動が、安心感や満足感につながっていること
- 情報発信や共有の積み重ねが、信頼の基盤になっていること
- その上で、「より分かりやすく」「より良くしたい」という前向きな声が出てきていること が共通して見えてきました。

これは、事業所として大きな不安や不信がある段階ではなく、**次の質を高めていく段階**に入っていることを示していると受け止めています。

2. 人員配置・体制について

保護者の皆さまからは、

- スタッフの配置数や体制が、もう少し見えると安心できる という声がありました。

一方、スタッフからは、

- 男性スタッフが増えたことなど、構成の変化が支援の幅につながっている
- 日々の関わりの中で、体制としての安定感を感じている という意見が挙げられています。

このことから、実際の現場は安定して機能している一方で、その内容が十分に伝わりきっていない部分があることが分かりました。

今後は、人数だけでなく「どのような構成で、どんな役割分担をして支援しているのか」を、より分かりやすくお伝えできるよう工夫していきたいと考えています。

3. 日々の様子・情報共有について

保護者の皆さまからは、

- SNS やメールで日常の様子を知ることができ、安心につながっている
- 高頻度な発信を楽しみにしている という、ありがたい評価を多くいただきました。

スタッフからも、

- アプリを活用した研修や引き継ぎが、勤務日や時間帯の違いを超えて機能している
- 情報共有の方法として効果を感じている という声がありました。

発信や共有は単なる報告ではなく、子どもたちの姿や支援の背景を共有する大切な支援の一部として、今後も丁寧に続けていきます。

4. 支援の個別性と現場の課題

保護者の皆さまからは、

- 通所時期や背景によって、仲間関係の中で大人の手助けが必要な場面がある というご意見もいただきました。

また、スタッフからは、

- ・ 現場で過ごす時間が長い分、書類作成などの業務に負担を感じることもあるという声が挙がっています。

これらはどちらも、一人ひとりを大切にしたい支援を行っているからこそ見えてくる課題だと受け止めています。

支援の質を守りながら、業務のあり方や仕組みについても見直しを重ね、現場が持続可能であることを大切にしていきます。

5. これからに向けて

今回のアンケートは、評価のためのものではなく、あおいはるをより良くしていくための対話の材料だと考えています。

保護者の皆さま、スタッフそれぞれの立場からの声を重ね合わせることで、「続けていきたいこと」と「整えていきたいこと」の両方が見えてきました。

今後も、日々の実践を大切にしながら、互いに声を届け合える関係性を土台に、あおいはるらしい支援を育てていきたいと思っています。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

NPO 法人あおいはる 代表理事 鶴 司 （2025年12月13日）